

平成24年度 指定管理者施設管理評価シート

部 教育委員会事務局 課 児童保育課

施設名称		〔37〕 東京都台東区立千束児童館				
指定管理者の名称		社会福祉法人台東区社会福祉事業団		指定期間	H22.4.1 ~ H27.3.31	
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	台東区の児童及び高齢者福祉の充実による区民福祉の向上を図るため、児童館や高齢者福祉施設の管理・運営を行なう。					
(2)類似施設の管理実績	児童館7館、15こどもクラブ(平成23年末まで13こどもクラブ)					
(3)経営状況	(23年度決算ベース)〔社会福祉事業会計〕 収入2,801,147,502円, 支出2,609,179,684円, 収支差額191,967,818円					
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区千束3-20-6					
(2)設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とする。					
(3)利用者	区内在住の幼児から中学校終了までを主たる対象とする。					
(4)開館日・時間	月曜日から土曜日：午前9：30～午後6：00、日曜日(第三日曜日を除く)：午前9：30～午後6：00一部開放。 休館日 年末年始、祝祭日(5月5日は開放)					
(5)規模	RC4階建て 3・4階 図書室・遊戯室・図工室・音楽室・こどもクラブ室等 千束保育園併設					
(6)人員体制	常勤職員3名、短時間職員4名					
3. 事業(サービス提供)の概要						
(1)委託事業	児童の福祉を目的とする事業 児童館の利用を通して児童の情操の育成に資する事業 健全な遊びを通して児童の集団的及び個別指導を行なうこと その他、児童館の目的達成のために必要な事業					
(2)自主事業	自主事業は行っていない					
4. 予算決算の推移						
		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
予算	委託料	37,072,000	32,081,000	31,176,000	33,041,000	36,064,000
	料金収入等	0	0	0	0	0
	管理経費	37,072,000	32,081,000	31,176,000	33,041,000	36,064,000
決算	委託料	29,438,743	32,302,401	31,849,502	34,318,317	30,310,519
	料金収入等	0	0	0	0	0
	管理経費	29,438,743	32,302,401	31,849,502	34,318,317	30,310,519
	収支	0	0	0	0	0
5. 施設の稼働状況等(活動指標)						
指標名称		単位	20年度	21年度	22年度	23年度
開館日数		日	334	333	334	308
6. 成果指標						
指標名称		単位	目標値 (25年度)	21年度	22年度	23年度
利用者数		人	30,000	33,318	34,858	19,287

7. 平成23年度評価結果に対する現在までの取組み				
<p>耐震大規模改修に伴い仮移転するため、利用者への周知を行い改修前の施設のお別れ行事を実施した。仮移転後は、既存施設周辺の公園への出前活動の実施、仮移転した竜泉地域や児童館のない根岸地域に児童館を周知し、児童館の楽しさを伝えた。</p> <p>改修後は、屋上の活用やレイアウト変更で広がった遊戯室等新しい各室の活動により、24年度に向けて利用者増に努力した。</p>				
<p>8. 評価項目</p> <p>3: 協定等の水準を上回っている。 0: 協定等の水準を下回っている。 2: 協定等の水準どおりである。 -: 評価対象外項目。 1: おおむね協定等の水準だが課題がある。</p>				
評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.1]	(a)施設の目的達成 [2] (b)サービス水準 [2] (c)職員配置 [2] (d)職員研修 [2] (e)案内・接遇 [2]	(f)開館時間等の遵守 [2] (g)自主事業の成果 [-] (h)個人情報保護 [2] (i)緊急時対応 [3] (j)警備・防犯体制 [2]		
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検 [2] (b)備品の管理 [2] (c)清掃・衛生管理 [2] (d)施設の修繕 [2]	(e)危険箇所等の確認 [2] (f)管理記録の作成・保存 [2] (g)業務委託の事前承認 [2] (h)省エネ・省資源・環境配慮 [2]		
(3)利用者の満足度 平均 [2.0]	(a)利用者・第三者機関の評価 [2] (b)苦情・要望への対応と報告 [2] (c)利用者数の目標達成 [2]	(d)利用しやすい環境整備 [2] (e)関係団体・地域との関わり [2]		
(4)歳入歳出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行 [2] (b)経費縮減のための取組み [2]	(c)収支計画の達成 [2] (d)利用料等の徴収・管理 [-]		
<p>9. 評価</p> <p>S (水準以上) : 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。 A (適正) : 協定等の水準を満たす管理が行われている。 B (一部課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。 C (課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。 D (水準未滿) : 協定等の水準を満たしていない。</p>				
評価の観点	評価	説明		
(1)事業の運営	A	東日本大震災の影響と、耐震改修での仮移転中は、日曜開放が実施できなかった為、利用者が大きく減少したが、千束地域への出前活動、金杉、根岸地域の児童・幼児親子向けの活動に取り組んだ。また、緊急時対応の避難訓練等を定期的に行っている		
(2)施設の維持管理	A	耐震大規模改修にあたって、利用者の要望等を反映した各室の改修案を提案し、移転についても利用者への周知も含めて指定管理者として安全に実施した。		
(3)利用者の満足度	A	東日本大震災と仮移転の影響で、利用者数が減少したが、仮移転後の金杉・根岸地域へのPRや、既存施設周辺の公園への出前活動等に努めた結果、金杉・根岸地区の利用者からは、仮移転で児童館が来て良かったとの感想を頂いた。		
(4)歳入歳出	A	仮移転中の事務の効率化により、人員や時間外勤務の見直しによる経費削減に努力し、支出を減らした。		
<p>10. 総合評価</p> <p>良好 妥当 要努力 要改善 不適</p>				
妥当		東日本大震災と耐震大規模改修の仮移転による制約もあったが、子ども達の自主企画によるお楽しみ会の実施や近隣の公園への定期的な出前活動など、改修による影響を子ども達に与えないよう、運営に努力した。		
<p>11. 平成24年度評価結果に対する今後の対応</p> <p>耐震大規模改修完了後、新たな施設での活動に対する利用者の期待も大きい。仮移転中に利用していた根岸地域の利用者も含めてカバーし、地域の児童健全育成の拠点として、様々な年齢に合わせた活動と異年齢の交流を進めて行く。</p>				